

農協の女性登用に関する状況（令和6年度） － 結果のポイント －

令和6年度における農協役員の女性登用に関する状況のポイントは以下のとおり。

- 前年度に続き、女性役員の比率や目標・計画の設定状況等、女性登用の取組は緩やかに進んでいる。
- 都道府県内に設置されている全ての農協において女性が登用されている都道府県は43都府県。
- 全国の女性の農協役員数は1,508人で、農協役員全体の11.2%(+0.5%)
- 女性の農協役員の比率が15%以上※となった農協は134(全体の26.4%)。20%以上※となった農協は44(全体の8.7%)。女性の農協役員の比率が最も高かった農協は、愛知県なごや農協(26.9%)となった。

1位：愛知県なごや農協(26.9%)、2位：岐阜県ぎふ農協(25.5%)、
3位：石川県能登農協(24.0%)
- ※ 農協役員に占める女性の割合について、食料・農業・農村基本計画（令和7年4月閣議決定）では20%、第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）では15%として成果目標が設定されている。
- 都道府県別では、令和3年度に本調査を始めて以来、2年連続して山口県が47都道府県のうちで最も高い女性の農協役員比率となった。

1位：山口県(20.0%)、2位：愛知県(19.4%)、3位：岐阜県(18.4%)
- 女性の農協役員比率の伸び率（前年度比）は、福井県が最も高かった。

1位：福井県(+5.7%)、2位：高知県(+5.6%)、3位：茨城県、岐阜県(+2.5%)
- 前年度に女性の役員がいなかった農協において、改選等で最も女性の役員比率を伸ばしたのは、北海道芽室町農協(+18.8%)だった。次点として、福井県越前たけふ農協(+16.7%)だった。

1位：北海道芽室町農協(+18.8%)、2位：福井県越前たけふ農協(+16.7%)
3位：徳島県農協(+8.5%)
※3位については、令和6年の合併により新設された農協。他に女性役員がいなかった農協で比率を伸ばした農協はなし。
- 前年度に女性の役員のいた農協において、改選等で最も女性の役員比率を伸ばしたのは、北海道上川中央農協及び茨城県北つくば農協(+15.4%)だった。

1位：北海道上川中央農協、茨城県北つくば農協(+15.4%)、
3位：西美濃農協(+15.0%)

（以上）